

まいづる元気人

Vol.90

ペン画で伝える 歴代の軍艦たち



元海上自衛官
ペン画アーティスト
石原 健さん

今年には海軍舞鶴鎮守府開庁から120年の節目の年。その記念事業で東郷邸に植樹された「東郷元帥ゆかりの銀杏の木」の説明版に描かれた軍艦「比叡」のイラスト。その原画提供の縁から10月には「舞鶴艦物語 - 技術とものづくり -」でも軍艦と自衛艦を描いた作品約70隻77枚を展示した。1本のペンのみで表現されるペン画を楽しみ、趣味を謳歌する石原さんに話を伺った。



▲一等巡洋艦「吾妻」のペン画を説明する石原さん



▲砕氷艦「しらせ」のペン画

絵と船の魅力に取り付かれて

「たぶん船の絵を描くのが好きなんです」。海軍の軍艦や海上自衛隊の護衛艦のほか、海上保安庁の巡視艇や民間の旅客船など、船をテーマに1,000点以上の作品を描いた石原さん。絵を描くことが好きで、使っていたのはインクを付けて描く普通のつけペン。子どもの頃から船に興味があったという。中学を卒業後、働きながらその思いのもと、海上自衛隊に転職し「舞鶴教育隊」へ。舞鶴にいたら新しい艦に乗れると誘われ、退官まで舞鶴地方総監部所属の部隊や艦艇に勤務した。

「プライベートの時間でも撮った写真を絵にしてみました。描いているうちにどこで噂が広まったのか、艦の絵を描いてほしいという同僚の依頼が増えていき、知らない人の退官記念にと絵を依頼されることもありました」とその口調は温かい。

「舞鶴の造船所で新しく造られる艦の情報を聞くと就役記念のペン画を希望される艦艇にプレゼントしていました。中には艦の食堂などに飾ってくれたり、現在も大切に保管してくれていたりと、うれしいです」と感謝されることも

多いようだ。一枚の絵を描くときは、写真などを参考に、下絵を鉛筆で描く。できた下絵に重ねた用紙に書き写し、その上をペンで描く。30号サイズのペン画はだいたい30〜50時間かけて完成させるという。

自分のまちの歴史を知る

舞鶴は暮盤目状にまちが整備され、通りには明治時代の33隻の軍艦の名前が付けられた。その中の三笠・吾妻・千歳・比叡・千早は舞鶴鎮守府に在籍していた。約3年前から通り名の地図を自分で確かめたり、艦の当時の写真を集めて描いたりしてきた。「私も長年東舞鶴に住んでいます。軍艦名の通りを知っている人は多いかもしれませんが、その軍艦がどんな艦か知っている人は少ないと思います。住んでいる人にもっとその歴史を知ってほしいです」とモノクロームで描かれたペン画は、カラーの写真にはない表現力がある。

『好き』そのもの上手なれ。

趣味が高じてペン画展を開くまでになった石原さんのペン画を見て何かを感じた人も多くいることだろう。



高校生が考える

SDGs

第5回

作り方

- ① サワラに塩・コショウを振り、小麦粉をまぶして余分な粉をはたき。
- ② 熱したフライパンにサラダ油を入れ、サワラの皮目を下にして焼く。色がついたら裏返し、上に薄切りのトマト、チーズの順にのせる。
- ③ ふたをして蒸し焼きにし、チーズがとろりしたら皿に取る。
- ④ キャベツの千切りを付け合わせる。



1人分約260kcal 塩分約0.8g
舞鶴の食材：サワラ、トマト、キャベツ

材料4人分

- ◇ サワラ…4切(200g)
- ◇ トマト…1個
- ◇ ところろチーズ…4枚
- ◇ キャベツ…200g
- ◇ サラダ油…大さじ2
- ◇ 小麦粉・塩・コショウ…少々

旬のサワラ。サワラはあつさりした味なので、チーズやマヨネーズなど油分を少し足すとおいしさが増します。今回のつけ合わせは生のキャベツですが、ポリウムがあつて食べにくいなと思う場合はさつとゆでたり、電子レンジで加熱するとかさが減って食べやすくなります。ザルに入れた千切りキャベツに熱湯を回しかけるだけでもポリウムタウン。手軽な工夫で野菜をたくさん食べましょう。

【協力】はまなす会(市食生活改善推進員協議会)

8月号から連載コーナーでSDGs(持続可能な開発目標)を市内高校・高専の生徒・学生が考えています。第5回は2巡目の日星高校。3人の生徒に「住み続けられるまち」になるためには何が必要かをテーマに話を聞きました。

◆万願寺甘とう大福

まず舞鶴市の課題をクラスや家族のイメージ調査から見つけ、魅力を知るところに着眼し、スイーツを作ることになりました。農家を取材し、AIを使って万願寺甘とうを作っていることを知り、甘とうを使用した大福を作りました。地元の特産品の魅力を知ること、若者の呼び込みや地域の活性化につながると思います。

◆パンフレットコンクール

観光で舞鶴を盛り上げたいと思い、課題を洗い出したところ、若者は魅力を知らないことが分かりました。もっと知ってもらうために、高校1・2年生を対象にした、魅力を学び、冊子にまとめるパンフレットコンクールを考えました。作成されたパンフレットをホテルや港に配架し、観光客に市民の知る

スポットを見てもらうことで、市民と観光客の懸け橋にしたいと思いました。

◆人と人のつながり

市内のカフェに取材に行った時に店長が「舞鶴が好きだから盛り上げたい」と言っているのを聞き、私も地域づくりに協力したい思いが芽生えました。話すまでカフェの店長は他人でしたが、思いを聞くことで身近に感じて、それは人と人のつながりが生まれたからということに気がきました。つながりが増えて情報を持つ人が増えることで発信する人、関心を持つ人が増えるのではないかと感じ、地元のことを取材して動画を作成しました。

／ 私たちが考えました！

